



空気より軽いガス用

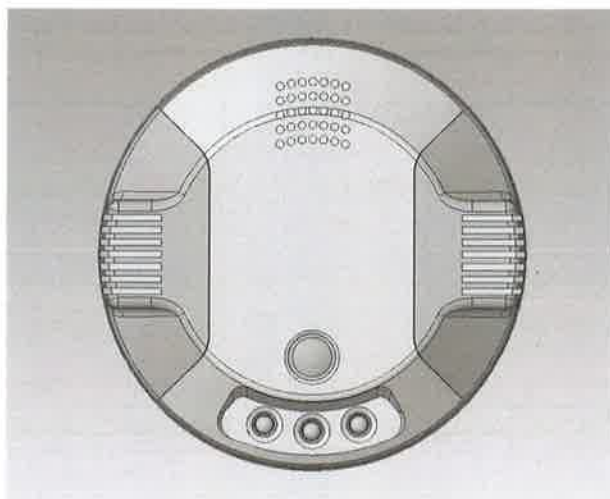
キャッチャー

(家庭用・業務用兼用)
都市ガス警報器

形式名 YF-561(A)

取扱説明書

保証書付



一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

このたびは都市ガス警報器をお付けいただきありがとうございました。

この取扱説明書は都市ガス警報器の取扱方法を説明します。

お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。

取扱説明書(保証書)は、取付け後もお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

本書を紛失された場合は、ガス事業者または、最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問合せください。

この警報器は都市ガスを検知して警報を発するものです。

ガスもれの防止装置、不完全燃焼警報機能付ではありません。

ガスもれなどによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

以下、この取扱説明書では都市ガス警報器のことを警報器といいます。

【日常点検のお願い】

警報器が使えなくなると緑ランプが点滅してお知らせします。燃焼器をお
使いになる前に緑ランプを点検してください。

緑ランプが速い点滅(P3参照)をしていたら、最寄りのガス事業者にご連絡く
ださい。



必ず行う

安全上のご注意(絵表示について)

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

もくじ

● 警報器をご使用になる皆様及び施工される方へ

- ① 対象ガス及び仕様 1
- ② 各部の名称と働き 2

● ご使用になる皆様へ

- ③ 主な特長 4
- ④ ご使用上の注意 5
- ⑤ 使用方法 7
- ⑥ 警報器のお手入れ方法 8
- ⑦ 警報器を取付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い 9
- ⑧ アフターサービス 12

はじめに

- ⑨ 警報時の処置 13
 - 「ピッピッピッピッ…」とガスもれ警報を発している場合 14
 - 電源ランプ(緑ランプ)が速い点滅をしている場合 16
- ⑩ 警報時の外部機器の動作 17
- ⑪ 誤報に関する注意事項 18

警報時の処置

● 施工される方へ

- ⑫ 施工される方へのお願い 19
- ⑬ 取付位置の確認 20
- ⑭ 取付方法 22
- ⑮ 作動点検 24
- ⑯ お客様へのご説明内容 27

施工

- 保証書 28

● 警報器をご使用になる皆様及び施工される方へ

1 対象ガス及び仕様

はじめに

項 目	仕 様
型 名	都市ガス警報器
対 象 ガ ス	都市ガス(空気より軽いガス用)
警 報 ガ ス 濃 度	爆発下限界濃度の1/4以下
検 知 方 式	接触燃焼式
警 報 方 式	赤ランプ点灯ブザー音(自動復帰式) 約25秒後に警報音「ピッピッピッピッ…」の繰り返し(自動復帰式) 警報音は警報音確認ボタンによりブザーと音声の選択ができます。
応 答 速 度	60秒以内
外 部 出 力 信 号	監視時 DC6V 警報時 DC12V 電源OFF時 0V 発信標準遅延時間 0秒
付 属 回 路	通電初期警報防止用約1分間タイマー付
警 報 音 量	70dB以上/m
電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	監視時 約1.7W 警報時 約2.1W
使用温度範囲	-10℃～+50℃(結露しないこと)
寸 法 ・ 質 量	φ120×40mm 約180g
取 付 方 法	取付ベース(別売品) 回転引掛式
付 属 品	取扱説明書(保証書付)
ケ ー ス 材 質	ABS樹脂(自己消火性)

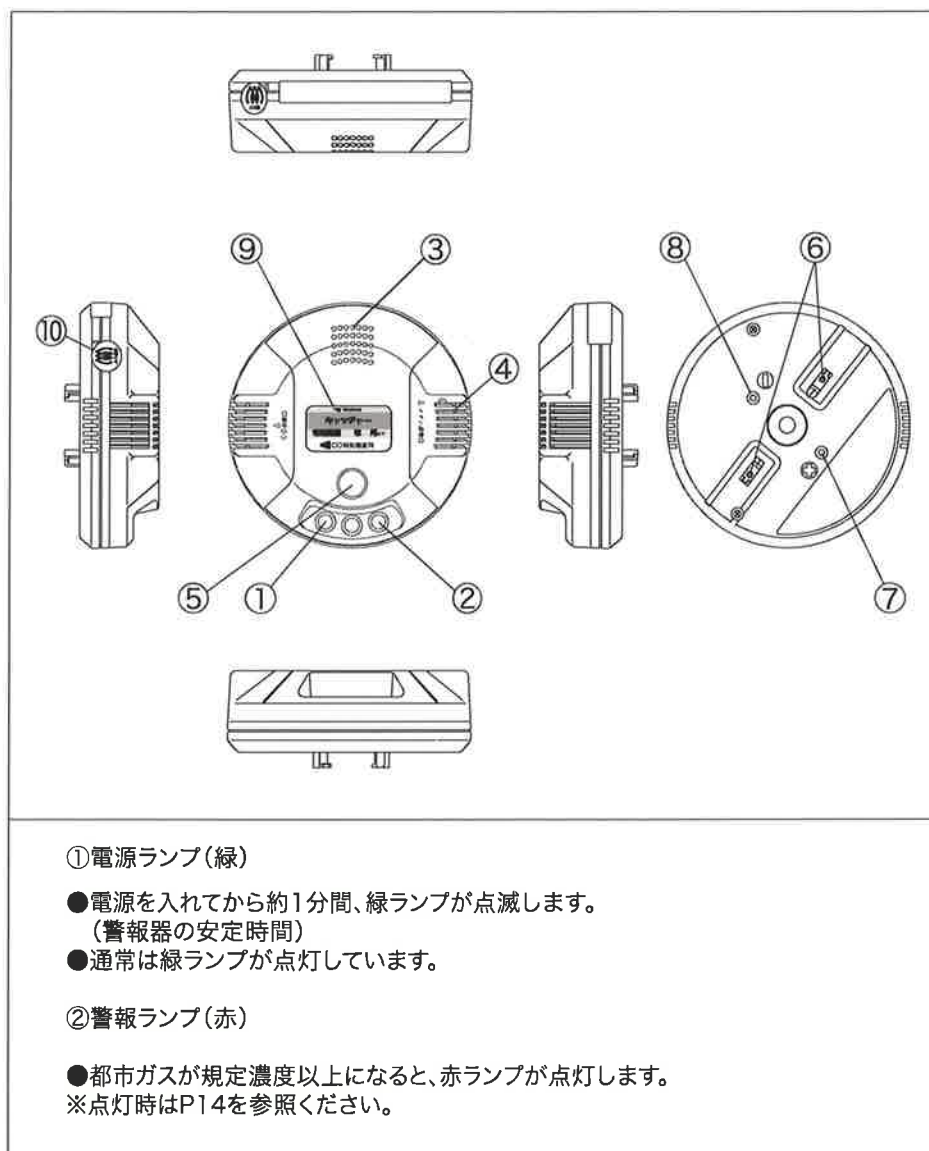
※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。
その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

⚠ 注意

- この警報器は都市ガス(空気より軽いガス用)専用の警報器です。
不完全燃焼警報機能付ではありません。
- 都市ガス(空気より軽いガス用)供給区域外ではお使いにならないでください。

2

各部の名称と働き



③警報スピーカ

- 購入時はブザー設定となっています。(音声設定を要望される場合は最寄りのガス事業者まで申し出てください。)
〈注意〉音声設定した場合でも、停電等で電圧がOFFするとブザー設定に戻ります。
- 警報時には「ピッピッピッピッ…」のみが鳴ります。
※音声設定した場合「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」が鳴ります。
※鳴動時は14ページを参照ください。

④ガス検知部
(都市ガス)

⑤警報音確認ボタン

- 5秒以上のボタン長押しで警報音をブザーか音声に切替えることができます。
- 5秒未満のボタン押しで警報音の確認ができます。

⑥電源端子

⑦外部出力端子⊕

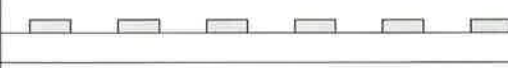
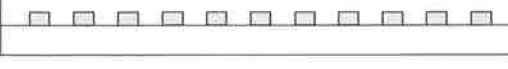
⑧外部出力端子⊖

⑨有効期限シール

⑩検査合格証

ーランプの表示についてー

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、速い点滅は次の表示動作を表します。

点灯	連続して点灯	
点滅	0.5秒毎に点灯	
速い点滅	0.25秒毎に点灯	

●ご使用になる皆様へ

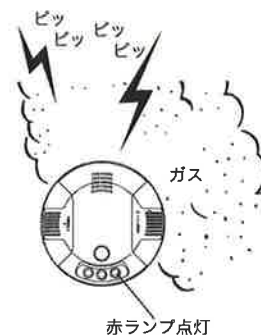
3 主な特長

都市ガス警報機能

●都市ガスがもれた場合

警報器周囲の都市ガス濃度が規定濃度以上になると、右のように作動します。

赤ランプ点灯とガスもれ警報音「ピッピッピッピッ…」
(都市ガスを検知すると、まず赤ランプが点灯し、さらに検知しつづけると、約25秒後に警報音を発します。)



はじめに

連動機器との接続

- 住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、住宅情報盤は専用品(別売品)をご使用ください。
- 戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品(別売品)をご使用ください。
- マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品(警報器アダプター)が必要になります。
- 無線連動システムでは警報を発すると送信機が電波を発信し、受信機が受信して自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

4

ご使用上の注意

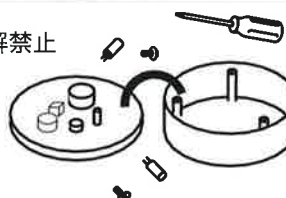
はじめに

⚠ 警告

●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いをしないでください。(故障の原因となります。)



分解禁止



●警報器は常に通電されていることを確認し、取付ベースから警報器を取り外さないでください。(ガスもれが発生していても警報を発しません。)



禁止



●ガス検知部は絶対にふさがないようにください。(ガスもれを検知しなくなります。)



禁止

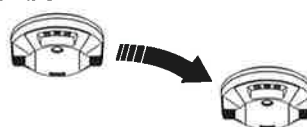


⚠ 注意

●警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報器の位置を変える必要が生じた場合は、最寄りのガス事業者に依頼してください。(警報の遅れの原因となります。)



移動禁止



●ぬれた手で警報器、取付ベースにさわらないでください。(感電する恐れがあります。)



ぬれた手でさわらない



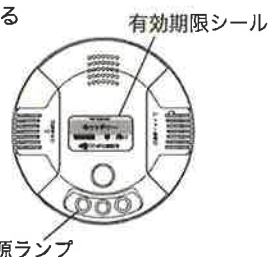
⚠ 注意

●日常、電源ランプ(緑)が点灯していることをお確かめください。



確かめる

●警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限が表示してあります。(取付時に記入)
有効期限は、お取付け後5年です。
期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤動作の恐れがあります。



はじめに

⚠ 危険

●浴室では使用できません。

⚠ 注意

●この警報器は、お取付けいただいた場所近くでのガスもれには警報を発してお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれでは警報を発しないことがあります。

●屋外用ではありませんので、屋外では使用できません。

●警報器の近くでラジオなどを使用されると、ノイズ(雑音)が増える場合があります。この場合は、警報器から少し距離を離してご使用ください。

※停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約1分間は作動しません。なお約1分後に赤ランプが点灯する場合がありますが、しばらくすると緑ランプ点灯のみに変わります。

※警報器は多少暖かくなりますが、異常ではありません。(通電によりセンサ部を加熱して使用するため。)

※殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。

電源ランプ(緑)が消灯している場合の原因と処置

原 因	処 置
●電源コードのプラグのはずれ ●停電 ●電源ブレーカーが切れている ●警報器の故障	●電源プラグを差し込む ●ブレーカーを入れる ●販売店に連絡する

5

使用方法

はじめに

1. 警報器を取付ベース(別売品)に取付けてください。

警報器の動作

緑ランプが点滅します。

2. 約1分間お待ちください。

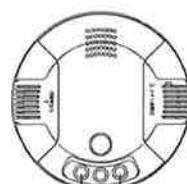
警報器の動作

約1分間は緑ランプが点滅しています。
この間にガスがかかっても本体は作動しません。



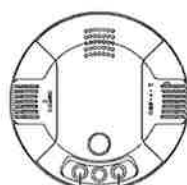
約1分後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。
緑ランプの速い点滅が止まらない場合は、
警報器の故障が考えられますのでガス事業者までご連絡ください。

〔赤ランプが点灯する場合がありますが、
しばらくすると消灯します。〕



赤ランプ消灯

緑ランプ点滅



赤ランプ消灯

緑ランプ点灯

お願い

- 警報器の日常点検として、電源ランプ(緑)が点灯していることをお確かめください。
また、作動点検として、月に1度P26を参照して警報音確認ボタンによる警報ランプ
と警報音の確認を実施してください。



必ず行う

6

警報器のお手入れ方法

⚠ 注意

- 警報器の表面及び取付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、必ず警報器を反時計方向にまわし、止まったところで警報器を下に引いてください。警報器が取り外せます。



警報器を取り外す



はじめに

お願い

- お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。



よく絞ってからふく

よく絞る



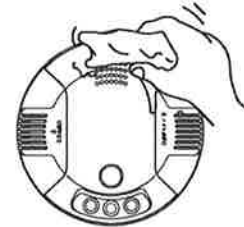
水または石けん水



- お手入れのとき、警報器の内部に水が入らないように注意してください。



禁止



- 警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー及びアルコールは使わないでください。中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく警報ランプ(赤)が点灯したり、警報音が鳴りやまないことがあります。



禁止



7

警報器を取付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い

はじめに

- 警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐのに効果があります。

1. 天井面がペンキ塗装等の場合には、下記の手順で処置してください。

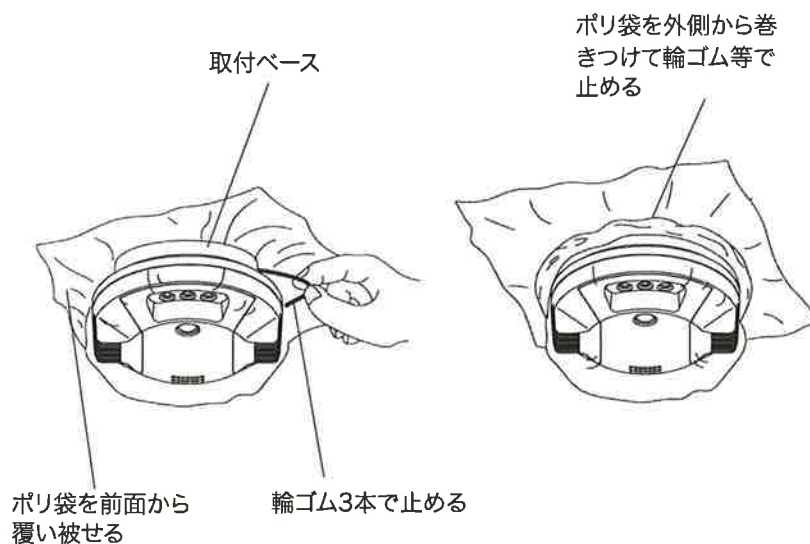
用意していただくもの

ポリ袋

- ・ポリプロピレン( または>PP<表示)が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・大きさは、35cm×35cm程度が適当です。

輪ゴム6本

- ①ポリ袋を輪ゴムで警報器の取付ベース部分を止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。
 - ②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、輪ゴムで止めたポリ袋の上から取付ベースに添って、ポリ袋を1周巻きつけて、輪ゴム等(3本程度)で止めてください。
- ※ 粘着テープを剥がすことにより、天井面をいためる恐れのある場合。



2. 1の方法で処置できない場合は、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

ポリ袋

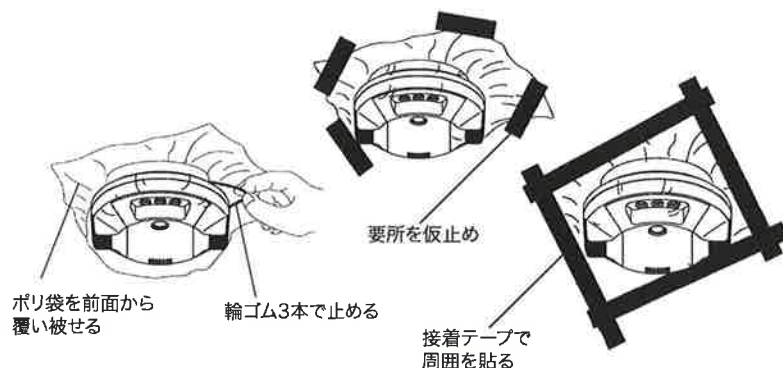
- ・ポリプロピレン( または>PP<表示)が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・大きさは、35cm×35cm程度が適当です。

輪ゴム3本

接着テープ

天井面の状況に応じた接着テープ

- ① ポリ袋を輪ゴムで警報器の取付ベース部分を止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。
- ② ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで天井面に貼付けてください。要所をテープで仮止めしてから、周囲を貼ってください。ただし、天井面等の状況により貼付けできない場合は輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。
 - ・ポリ袋と天井面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分を注意してふさいでください。
 - ・接着テープは天井面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに天井面等を傷めないテープを使用してください。



⚠ 警告

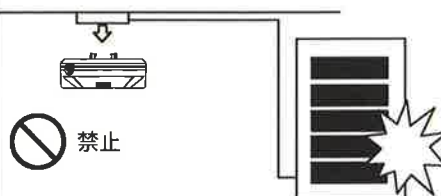
- 噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。

- ❗ 取り除く



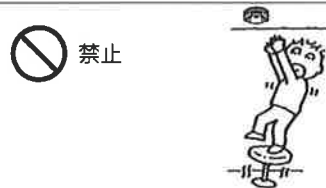
⚠ 警告

- 警報器は取外さないでください。
※ 警報器の信号が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続されている場合は、警報器を取付ベースから取外したりすると、外部機器で警報(故障表示)が鳴る場合があります。



⚠ 注意

- 警報器へのポリ袋の取付け、取外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。



- 天井取付け型警報器は、警報器を左(反時計方向)に回すとベースから外れ、落下するおそれがあります。



お願い

- ガス警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。
- ポリ袋で覆っても次のような場合には警報器が鳴る場合があります。念のために、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤使用を、ご連絡してください。
 - ・ ポリ袋と天井面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
 - ・ 部屋の広さに比べて極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
 - ・ 警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。(ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため)
 - ・ 経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

8 アフターサービス

お願い

- この警報器は、5年間の無償保証付です。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付け後5年です。
有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、新しい警報器とお取り替えください。

※有効期限を経過した警報器は、ガス事業者が引き取って適切に処理いたします。
ガス事業者にお渡しください。

※お買い上げいただいた警報器の場合は、お客様にてお住まいの市町村の廃棄物処理方法にしたがって廃棄してください。
- 保証書に取付け年月日および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または、最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問合せください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、ガス事業者までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 転居する場合は、お買い求めのガス事業者に連絡し、警報器の扱いについてご確認ください。

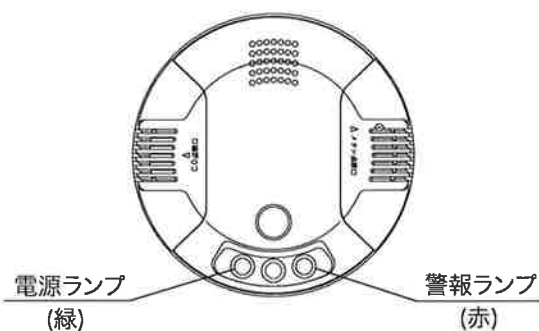
はじめに

9

警報時の処置

警報状態	電源ランプ(緑)	警報ランプ(赤)	警 報 音
ガスもれ警報	点灯	点灯	ガスもれ警報音「ピッピッピッピッ…」 (警報ランプ(赤)点灯から約25秒後に警報音が鳴ります)
故障	速い点滅	消灯	「ピッピッ」を30秒に1回

- ・ 警報ランプはそれぞれ独立して点灯します。
- ・ 音声設定の場合、以下の警報音が鳴ります。
「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」



警報時の処置

「ピッピッピッピッ…」とガスもれ警報を発している場合

- 「ピッピッピッピッ…」と連続して警報を発し、警報ランプ(赤)が点灯している場合、都市ガス警報を意味しています。

部屋にいた場合で、警報器が鳴り始めたとき

⚠ 危険

火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対しないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。



火気禁止



換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。



禁止



換気扇の
スイッチ等

警報器は取り外さないでください。



禁止



●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。



開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。

ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合 ガスコード接続の場合



閉める

3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りのガス事業者へご連絡ください。



連絡する

※たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。



4. ガスが規定のガス濃度以下になれば警報音は自動的に止まりますので、止まってからガスもれの原因を点検してください。ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



調べる



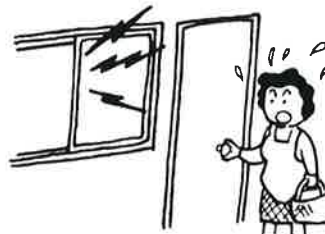
警報時の処置

部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアを開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

⊘ すぐの入室禁止



●次の処置をしてください。

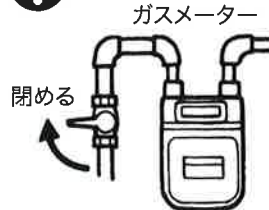
1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

⚠ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

⚠ 閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ガスコード接続の場合



コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

⚠ 閉める

※外部機器と連動している場合は、P17警報時の外部機器の動作をご参照ください。

もれたガスが規定のガス濃度以下になった場合

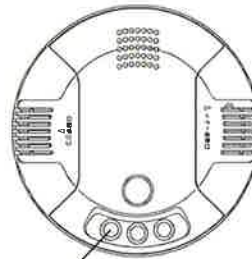
●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、警報ランプ(赤)が消灯し、電源ランプ(緑)のみの点灯となります。

電源ランプ(緑ランプ)が速い点滅をしている場合

電源ランプ(緑)が速い点滅をしている場合、
警報器の故障を意味します。
最寄りのガス事業者までご連絡ください。



確認する



電源ランプ(緑)の速い点滅

警報時の
処置

10

警報時の外部機器の動作

上段 ○:連動可能
△:警報器アダプターが必要

下段 警報音が鳴り始めてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

警報の種類 外部出力信号 外部出力線 連動機器	警報時の動作	都市ガス	備 考
		DC12V	
		端子	
戸外ブザー	警報音が鳴ります	○ 約45秒	
マイコンメーター	ガスを止めます	△ 約45秒	
住宅情報盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○ 約45秒	
無線連動装置	ガスを止めます	○ 約60秒	
集中監視盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○ ※1	
自動ガスシャ断装置	シャ断弁を閉じます	○ 約60秒	

※1 機器の設定により、遅延時間が異なります。

⚠ 注意

- 外部出力信号は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
- 住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
- 連動機器は専用品をお使いください。(集中監視盤を除く)
- 外部連動については、最寄りのガス事業者または矢崎エナジーシステム株式会社にご相談ください。

11

誤報に関する注意事項

お願い

ガスもれ以外でも次のような場合、警報音が鳴ることがありますが、しばらくすると鳴りやみますので警報器は取り外さないでください。

- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なたばこの煙を警報器に吹きかけた場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合、
また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- 警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)等の濃いガスがかかった場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
- 長時間部屋が閉め切られていた場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- お酒、みりんや酢等の調味料成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- この他にも、可燃性の成分が作用した場合。



※長い間、閉め切られていたお部屋に設置されている場合、建材等から発生する成分等の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。

このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気続けると、ランプの点灯は止まります。

ドアや窓を開けて換気してください。



開ける



警報時の処置

● 施工される方へ

12 施工される方へのお願い

⚠ 警告

- お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。  必ず行う
- 警報器を設置する前に、警報器の種類、形式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。  必ず行う
- 工事終了後に、取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。  必ず行う
- 定期点検として3年に1度、ガス及び警報音確認ボタンによる作動点検を実施してください。  必ず行う
- 工事終了後に取扱説明書P27お客様へのご説明内容に従ってお客様に説明してください。  必ず行う
- 有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について
 - ・ 一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。
 - ・ 一般廃棄物として焼却処理した場合、有毒ガスが発生する恐れがある材料が本製品には含まれています。
 - ・ 決められた処理ルートがある場合は、それに従って処理してください。 必ず行う

⚠ 注意

施工

- 取付ける警報器が空気より軽いガス用であり、本体に異常のないことを確認すること。  必ず行う
- 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意すること。  必ず行う
- 有効期限を本体正面の有効期限シールに記入すること。  必ず行う

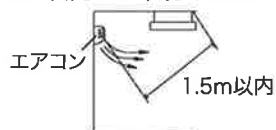
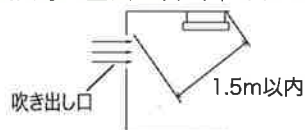
13 取付位置の確認

●取付位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠ 注意

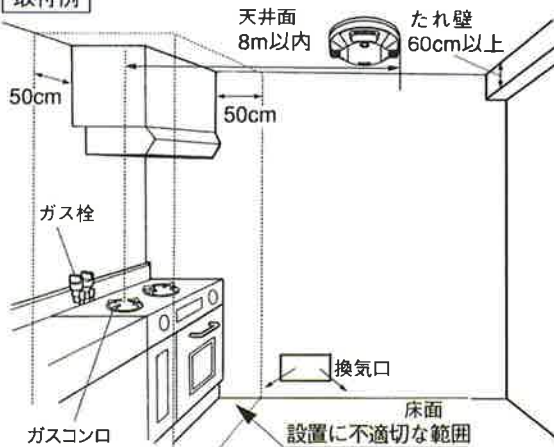
- 都市ガスを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。 **! 必ず行う**
- 都市ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。 **! 必ず行う**
- 都市ガスを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平8m以内とすること。 **! 必ず行う**
- アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないこと。 **⊘ 禁止**

●換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないこと。



⊘ 禁止

取付例



床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）
※取付け及び取付位置の移動はガス事業者におまかせください。

施
工

⚠ 注意

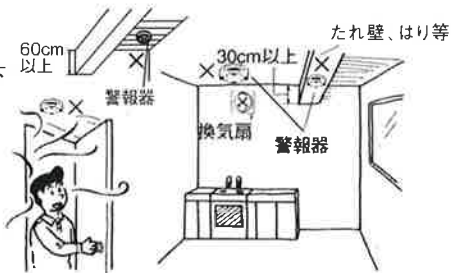
次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風のはいるところ
- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下
- 60cm以上のたれ壁で区切られているところ
- エアコン等の吹き出し口の近く



禁止

警報が遅れたり
検知できない
ことがあります。

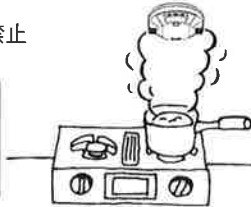


- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかる場所



禁止

センサの寿命が
短くなったり、
誤報の原因に
なります。

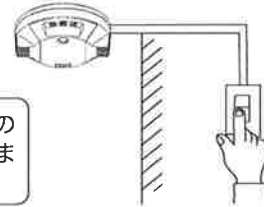


- 使用時しか電源を入れないところ(ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ)



禁止

警報器としての
機能を果たし
ません。



- カーテンウォールなどで仕切られる場所



禁止

警報が遅れます。

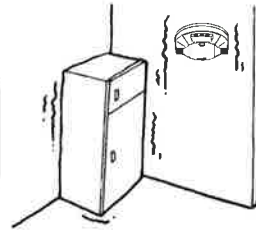


- 振動、衝撃の激しい場所



禁止

センサ故障
の原因にな
ります。

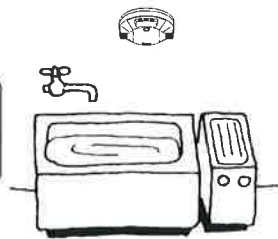


- 浴室や水のかかる場所や水滴のつく場所



禁止

感電や電氣的
故障の原因に
なります。

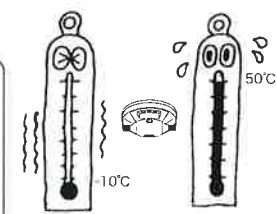


- 温度が-10℃～50℃の範囲を超える場所



禁止

警報器としての
機能を果た
しません。誤
作動の原因に
なります。



- 屋外



禁止

屋外用ではありません。

施
工

14

取付方法

⚠注意

- 取付けには取付ベース(別売品)が必要です。
- 警報器の取付時には、警報器を落とさないよう注意してください。

センサの断線等で正常に作動しない恐れがあります。

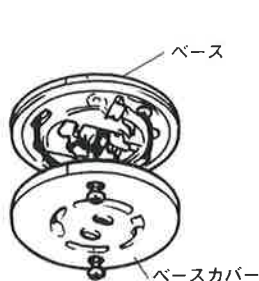
● 取付ベースの取付け



⚠注意

警報器の電気工事は専門の電気工事士に依頼してください。一般の方が工事をすることはできません。

1. 本体からベースを取り外し、カバー取付けネジをゆるめてベースカバーを外します。
2. ベースを付属の木ネジで天井に取付けます。



3. 結線完了後ベースカバーを取付けます。
4. 警報器本体をベースに合わせ、止まる位置まで右に回し確実に固定します。

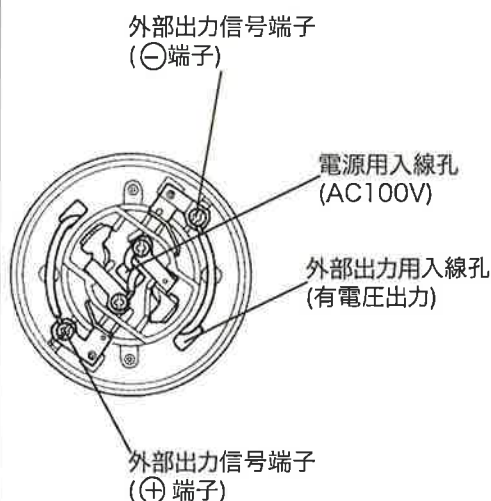
⚠注意

警報器が確実に固定されているかどうかの確認のためもう一度右に回してください。

⚠ 必ず行う

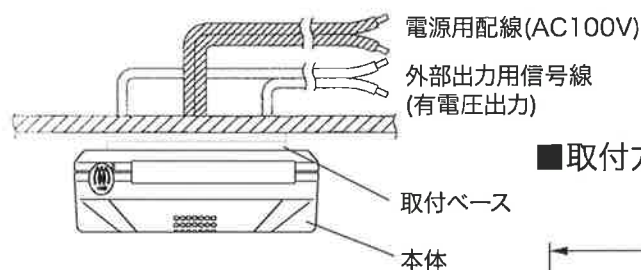
施工

■配線方法

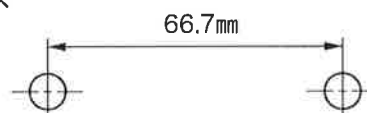


⚠注意

1. 金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用配線を同一配管される場合、外部出力用配線は600V絶縁電線で線径φ1.25以上のものをご使用ください。
2. 端子は内側が電源(AC100V)用、外側が外部出力用です。誤配線しますと内部回路が破損しますのでご注意ください。また外部出力用信号線は、極性がありますので、正しく接続してください。



■取付方法



適合ボックス

- JIS C 8340 アウトレットボックス
- JIS C 8340 コンクリートボックス

適合ボックスカバー

- JIS C 8340 丸孔カバー

取付け用部品

- ベース取付け用木ネジ 4×30・2本



施
工

15 作動点検

お願い

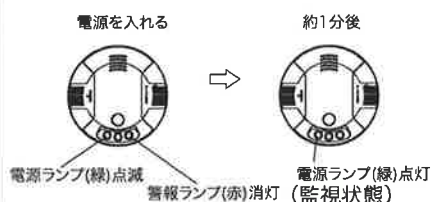
- ガス警報の作動点検時には、ガス採取器(別売品)とガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意してください。

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。センサ異常または鳴りやみ期間が長くなる可能性があります。



1. 警報器をあらかじめ取付けられている取付ベース(別売品)に取付けます。

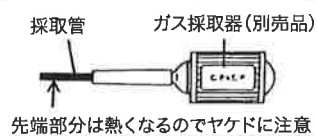
電源ランプ(緑)が点滅し、約1分後に点滅から点灯にかわり、警報器が監視状態に入ります。(約1分後に赤ランプが点灯している場合がありますが、しばらくすると消灯します。)



2. 電源ランプ(緑)点灯後、以下の手順で点検を行ってください。

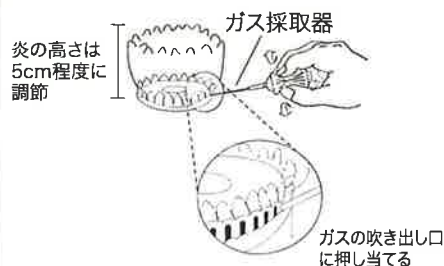
- (1) 周囲に引火物などが無いことを確認してからガスコンロを点火し、炎の高さを5cm程度に調整します。(炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。)
- (2) ガス採取器の容器部分を指で十分圧縮して、ガス採取管の先端を炎芯部(炎の根本部分)のガス吹き出し口に押し当てます。

警報器が異常になると、緑ランプが速い点滅になります。最寄りのガス事業者までご連絡ください。



施工

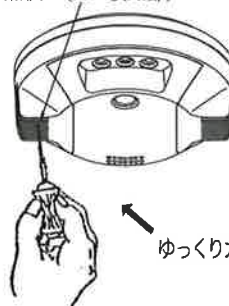
- (3) 容器の圧縮をゆっくりと(約3秒程度)緩め、炎の中からガス成分を吸引します。(長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。)点検ガスの採取が終わりましたら速やかにガス採取器をガスコンロの炎から離して、ガスコンロの炎を消してください。
 - (4) ガス採取管の先端部分の温度が下がるまで、約20秒程度待ちます。(ガス採取管の先端部分は熱くなっており、冷まらずに警報器に押し当てて点検すると、警報器のケースを溶かしたり、傷がついたりします。必ず約20秒以上冷ましてから点検してください。)
 - (5) ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかり押しあてて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。
 - (6) ガスを注入してから、次のように警報することを確認してください。
 - ・赤ランプが点灯し(緑ランプは点灯)その状態が約25秒続くと警報音「ピッピッピッピッ…」が鳴ります。
 - ※音声設定になっている場合は、「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と鳴ります。
3. ガスが規定のガス濃度以下になると、赤ランプは消灯します。



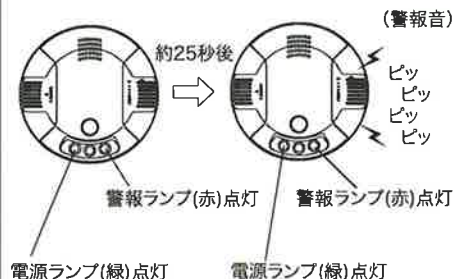
⚠ 注意

炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

点検口(ガス検知部)



ガスもれ警報



⚠ 警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。禁止

警報音確認ボタンによる警報ランプと警報音の確認

- 警報音確認ボタンを一時的にONすることによって警報ランプと警報音の確認を行うことができます。

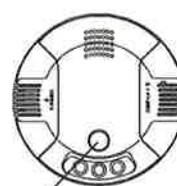
⚠ 注意

警報音確認ボタンを操作してもガス警報の作動点検にはなりません。ガス警報の作動点検は、P24～25にならって実施してください。

警報音確認ボタンを過大な力で押さないでください。破損する場合があります。

- (1)警報音確認ボタンを連続して2～3秒間押した後離してください。
- (2)警報ランプと警報音の確認が始まります。

確認時は下記の警報ランプの表示、ブザー音（音声設定時は警報音）を発します。



警報音確認ボタン

警報内容	警報ランプ(赤)	電源ランプ(緑)
「ビッピッピッピッ…」(連続) ※音声設定時は「ビッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と鳴ります。	点滅	点灯

- ※警報音は約8秒間鳴ります。
- ※点検中は電源ランプ(緑)は点灯です。
- ※この機能は初期遅延中及び監視中に行うことができます。
- ※外部出力は監視状態です。

- 警報音は、ブザーまたは音声の選択ができます。警報音確認ボタンを連続して5秒以上押すと切替わります。(5秒以下の場合では、警報音を発します。)
- ※初期設定はブザー設定になっています。
- ※音声設定した場合でも停電等で電源がOFFするとブザー設定に戻ります。

施
工

16

お客様へのご説明内容

●工事終了後に次の事項をお客様に説明してください。

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - (1) ガス警報の内容(赤ランプ・点灯、警報音の確認)と警報時のとるべき措置の説明。
 - (2) 部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置の説明。
 - (3) 誤報が発生する場合。
 - (4) 警報器に異常が発生した場合(緑ランプ点滅が60秒以上継続した場合)のとるべき措置の説明。
 - (5) 警報音確認ボタンの操作。

お願い

●お客様に次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。

1. 保証期間5年。
2. 警報器の有効期間。(本体に表示)
3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。
4. 警報器の移設禁止。(移設依頼の連絡先)
5. 警報器の分解禁止。
6. 引越時の措置。

 必ず行う

施
工

保 証 書

製品名 都市ガス・CO警報器 **キャッチャー**

このたびは、都市ガス・CO警報器 **キャッチャー** をお取り
付けいただき、まことにありがとうございます。

この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に
基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本
書記載内容にて無償点検あるいは、無償取替えを行うこと
を、お約束するものです。

形式	家庭用・業務用兼用 YF-561(A) (空気より軽いガス用)		
製 造 番 号			
お取付年月日	年	月	日
保 証 期 間	お取付年月日より 5 年 間		
お 客 さ ま	〒		
	ご住所 _____		
	お名前 _____		
	電 話 ()		
販 売 店	住所・店名 _____		
	電話 ()		

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元 及び 製造元	発売元 (本社) 〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号三田国際ビル17F 製造元 (天竜工場) 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111 (お問合わせ先) ガス機器事業部 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4511
------------------	--

YAZAKI

(次ページもご覧ください)

保証規定

1. 表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。
 - ① 本製品に異常が認められない場合。
 - ② 取扱説明書に基づかないで使用し、故障または損傷した場合。
 - ③ 火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による破壊または損傷。
 - ④ 取付位置が浴室・屋外・高温多湿など著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。
 - ⑤ お取り付け後、分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
 - ⑥ お取り付け後の取付場所の移動、落下などによる故障または損傷。
 - ⑦ 水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
 - ⑧ 本保証書のご提示がない場合。
 - ⑨ 本書の所定事項の未記入、あるいは語句を書き換えられた場合。
3. 本書は日本国内のみににおいて有効です。
4. なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

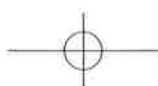
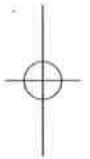
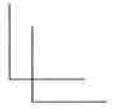
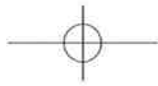
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本警報器の保証期間は取付年月日より5年間です。
警報器は保安機器であり、お取り付け後5年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

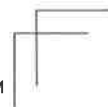
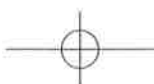
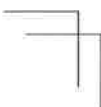
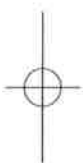
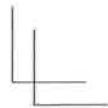
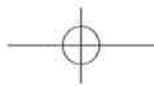
お取替え予定日

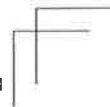
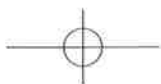
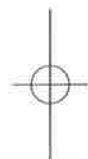
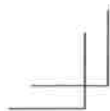
年

月

日







矢崎エナジーシステム株式会社

お客さまご相談窓口

ガス機器事業部	053(925)4511
[北海道] 札幌	011(852)2914
[東北] 仙台	022(284)9114
[関東] 東京	03(5782)2702
埼玉	048(654)2071
[中部] 名古屋	052(769)1532
静岡	054(283)1151
[関西] 大阪	06(6458)8185
[中国] 広島	082(568)7802
[四国] 高松	087(833)3335
[九州] 福岡	092(411)4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、
または最寄りのお客さまご相談窓口にご相談ください。
なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げます。
URL : <http://www.yazaki-group.com>
※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
766831-4-857